

地域おこし協力隊 田村 渉の ツキイチ活動日誌 ~Vol.3~

都市部から地方へ移り住み、地域課題の解決やさらなる活性化のために活動する「地域おこし協力隊」。1カ月に1度(=ツキイチ)、日頃の活動の様子を皆さんにお伝えします。

地域おこし協力隊は副業可能なので、アルバイトを始めました。千頭温泉旬と南アルプス山岳図書館です。学生時代のように楽しいですね。どちらも繁忙日の月1~2回程度ですが、お近くに来た際には、ぜひお立ち寄りください！

写真は、かつて北海道を走っていた「急行はまなす」の客車です。大井川鐵道沿線で草刈りの手伝いをした際に撮らせてもらいました。自分自身も乗ったことがあるので、思い入れがあります。



前田製函所さんで茶箱製作の見学

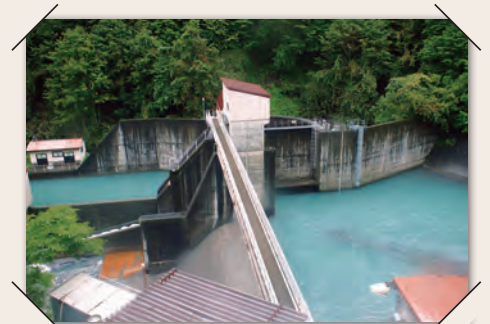
乾燥→反りを無くす→カット→接合→組み立て→トタン付け→目張りの全て手作りの工程を拝見させていただきました。

木材の微妙に異なる質の判断や木の反りや隙間を作らないなど、そのわずかな感覚が職人の技術と言え、全て昔ながらの手作りで続いています。インテリア茶箱など世界中に広まる可能性を秘めているもので、なんとか次世代に継承していくような仕組みが何かないかと思ったところです。



大井川源流を学ぶ視察会

9月28・29日の1泊2日で大井川のダム、地形などを見学しながら二軒小屋までのツアーです。立ち寄り場所の18カ所に加え、バス内での小澤節子先生のガイドは盛りだくさんで大変勉強になりました。「二軒小屋ロッジ」は超山奥とは思えないほどの施設とサービスで、個人的に何度も足を運んでみたい場所です。この内容をブログにしようとしたところ、書きたいことがあり過ぎたため、大井川特集の連載ブログを始めました。ぜひこちらも見ていただければと思います。



削り馬製作

削り馬とは、写真のように座って足でペダルを踏むことによって、木を固定して削る道具のことです。欧米では昔から木工芸に使われてきました。この削り馬は、築100年以上の家屋に使われていたヒノキ材です。つまり、この木が生えていたのは江戸時代という大変貴重な材で、松本匠先生の技によって生き返りました。

11月の産業文化祭、ふるさと祭りにて出店予定です。生木を削る楽しさを味わってみませんか？



今月のまとめ

9月は地域の有識者のみなさまとお話することが多く、大変勉強になりましたが、受け継ぐ人や体制が不足していると感じました。こういった知識や技術を結集すれば、町おこしにつながるので、私が少しでもお手伝いできるよう頑張ってまいります！

たむら・わたる / 焼津市出身。首都圏の地図製作会社にて地図や観光情報データベースの開発業務などを担当。その後、北海道にて自然体験プログラムやエコツアー、環境保全活動などの企画・運用の研修を経験。趣味は登山・スキー・旅行・将棋・麻雀。

ブログも更新中！

川根本町地域おこし協力隊

検索

